

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援ノーサイド		7年 4月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			十分なスペースが確保されています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			協力体制も充実されています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			適宜、冷暖房でや加湿器等個々の状態に合わせて、使用しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			クールダウンできる空間があります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		PDCAサイクルの取り組みがまだ不十分で、より多くの職員が参画できる全体会議等、開催しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			保護者からのご意見を周知し、改善につなげています。	毎月の個々の目標、ねらいなど立案しその都度、振り返りを行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的に職員会議を開催し、意見交換を行っています。また個別に意見等を把握し、問題解決や改善に繋げています。	内部・外部研修に参加するよう進めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三評価は受けていません。	第三者評価は行っておりません。外部評価や業務改善への取り組みがまだ不十分です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4			研修内容を作成し職員に参加してもらいやすい様に工夫していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			ホームページにて公表いたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		日々の支援状況を確認し子どもの様子、保護者、相談支援員等の情報なども含めニーズや課題を分析した上で作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		日々関わりのある職員から情報収集し、ニーズや課題を検討したうえで作成しております。	スタッフ間で聞き取りを行っておます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個人ファイル等は全体的に閲覧できるようにしています。LINE等で情報共有されていることも多いです。	計画に沿った支援が出来ているところもあるが不十分でないところもある為、共有して支援できるように取り組んでいきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			毎日、療育記録を記載しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で協議して立案しています。	今後より一層、日々支援を行っている職員の意見も交えながら活動プログラムを立案していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			今後人も人と関わりを多く持てるようにし、機能維持等の力を養えるように活動プログラムを考えていきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			集団・個別活動と状況に合わせて、実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		日々、支援前にスタッフで集まり支援担当を決めたり、情報共有を行っています。	スタッフ間で、共有する場を設けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後に出来る時は行っています。また、日誌にその日にあった出来事や注意する点、気づきを記入し、職員がいつでも見れる環境にしています。	毎日ではありませんが、スタッフ間で療育記録を参考に共有の場を設けてます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			毎日療育記録を記入しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリング以外に、送迎時や電話で話をする際に保護者より情報をお聞きしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		生活能力向上・社会参加・創作活動・運動という面で、イベントに参加し、創作活動への参加や、社会参加できる場面等を増やしたりしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		一人一人にあわせた声掛けなどを行っている。日常生活の中で、制作中の色を選ぶ事や、パーツを選ぶ等しこ選択する場面を作っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		各種機関（学校など）と連携を取り、情報を集めるようにしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流はありませんが、地域のイベントに参加したりしています。	地域の保育所や幼稚園など訪問に伺い、同年齢の子と関わる機会を作っていきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1		送迎時に詳細を保護者に丁寧に伝え、情報に共有を行うことができます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		契約時に説明を行っています。不明な点につきましては、個々で対応させていただきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			定期的に面談を行っています。また送迎時やお迎え時に保護者に寄り添いながら助言等を行い支援につなげています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会等が行っていないがイベントの際にご家族間で交流が出来るようサポートしている。	イベントで保護者、ご兄弟等お会いする場面はあります。交流までの機会は少なく今後交流の場を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速に対応を心がけております。また、保護者からの声に関しては、スタッフへすぐに周知するようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			個人情報については鍵付き書庫に入れていて、十分な配慮行っています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			情報共有ツール等を使い、保護者の方から頂いた意見をスタッフ全体に共有させて頂いています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		緊急時の役割分担を整えています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		訓練等は定期的に行っている。	避難訓練を年に2度実施し、避難所として避難食、発電機等を完備している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			保護者からの詳細の情報を書面にて記載していただいています。定期的に確認を行い変更時は保護者にご提示のご協力をお願いしております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			アレルギーのある利用児については個人ファイルやアセスメントシートなどに記載し、情報共有しています。引き続き、全職員への周知を徹底し、最新の注意を払ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		月に一回安全委員会という会議を開き、各施設でのヒヤリハット報告書を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			適宜、ヒヤリハットの記入と公開の仕組みが出来ています。毎月、安全委員会を開催しており、施設間で情報共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1		虐待・身体拘束防止を継続していきます。職員の育成についても、共有し周知しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		まれに身体拘束が必要な場合については保護者の同意を得たうえで行われています。